

電池ごみの出し方についておさらいしよう！

みなさん！電池の処分の仕方が分からないという方、いらっしゃるのではないのでしょうか？ここ最近、電池ごみが別のごみに混入して排出されているケースが見受けられます。このままでは排ガス中に水銀が含まれて排出されてしまうため、人体や環境に悪影響を及ぼす可能性があります。そこでまずは、電池の種類が色々あって分からないという方のために電池ごみの出し方をまとめました。

筒形乾電池（リチウム・充電タイプ以外）



（例）コンテナの上に乗せる

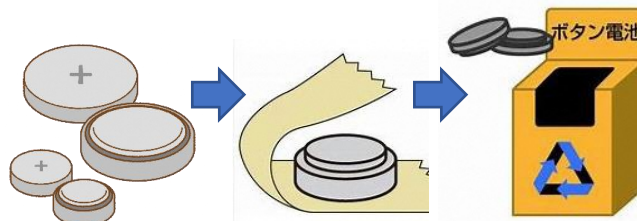


上記の形をした筒形乾電池は収集に出す際、+極・-極をセロハンテープやビニールテープ等で絶縁して、**燃えないゴミの日に青色コンテナの上に電池と一目で分かるように（透明、又は半透明の）袋に入れて出してください。ただし、袋の中には電池だけとなります（発火の恐れがあるため）。**直接クリーンセンターに持ち込む場合も同じようにして係りの者に引き渡してください。直接搬入の場合は、**有料**となります。

小型充電式電池（リチウム等）・水銀温度計、水銀血圧計等



ボタン、コイン電池



上記の形をしたボタン電池やバッテリー等に使われている小型充電式電池、水銀が使われている温度計・血圧計は、**収集や持ち込みは禁止されています。販売店の回収BOX等へお願いします。**

※ボタン電池限定：絶縁後、役場にお持ちいただければ回収をいたします。

絶縁方法は、次のページに記載されています

すべての＋極と－極をセロハンテープやビニールテープ等で絶縁する



アルカリ乾電池・マンガン乾電池



廃棄のとき



リチウム一次電池（円筒形）



廃棄のとき



リチウム一次電池（コイン型）



廃棄のとき



そのまま保管しておくとは発火の恐れがあるため、ご家庭で集めておく場合でもテープ等で絶縁しておくことをお勧めします。

三戸地区環境整備事務組合
三戸町住民福祉課
田子町住民課
南部町住民生活課